

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成30年5月13日（日） 15時～17時
- 開催場所 近隣センターこもれび
- 参加者 19名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長、
増田環境経済部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他管理職 9人
- 懇談要旨

市民：泉の雨水が排水できていない。柴崎排水は、どうなっているのか。平成9年の広報では、水害被害の皆様への実現へという記事があり、それから20年と半年以上過ぎておりますが、改善されておられません。泉地区がなぜ、水害にあうのかというとJR常磐線の下を横断する排水路の容量が少ないので、これを多くすれば良いというのですが、そうすると並木地区に影響が出るとの事です。

並木の排水は完成されましたが、泉は以前のままです。船取線から常磐線下までは逆勾配になっており、7.8パーミル。常磐線に入るところの幅が40cm、排水路の底が20cm上がっている状況で逆勾配の所に大気圧がかかり、流れなくなり、また、栄との合流部分もあり、単純に幹線を直すだけではなく、栄の水をどうするかという、総合的な考えをしていただければならないと思います。市長には解析をしっかりと判断いただきたいと思います。

建設部長：今言われましたように、天王台の雨水が泉を通過して、金谷に行く予定でした。国の方では、当初、我孫子市が雨水対策をするのであれば、自分たちで行うようにという考えが基本でしたので、基本管を利用して行う形でしたが、市長や国会議員の方の強い後押しで考えが変わり、国の方でも後田の改修をしようということになりました。もうすぐ、終わると思います。その関係で、天王台の雨水を柴崎の方に流した方が、泉に影響が出ないのではないかということで、見直しを行いました。その間、泉の交差点のところにボックスカルバート工事を行っております。ですから、何もやっていないということではなく、出来ることはやっております。柴崎に繋いだあとは、基本管の逆勾配になっているところや老朽

化されているところなどを改修するのか更新するのかを検討しており、しっかりと計画をたてておりますので、もうしばらくお待ちください。

市長:先ほどの平成9年の広報は、私が就任する前の市長のコメントであります。私は、平成19年に就任いたしました。私は湖北で生まれ育ち、水害が多かった事については、お年寄りの方からよく聞いております。ただ、市長に就任して我孫子が住宅地でこんなにも水害に弱いという事を知りました。特に平成19年の6月には、我孫子と根戸に時間84ミリというゲリラ豪雨があり、その時には床上浸水が88件、その翌年には104ミリの豪雨で多くの方が災害を被っております。私も被害者の家を廻りながら、家から避難をするような街では、住宅都市とは言えないと思い、国交省など色々とまわり、我孫子の現状を訴えてまいりました。その中で、12年近く水害対策が進んでいなかったこともわかり、私が引き継いだ時は上流から工事を行っていくと聞いており、果たしてそれで水害が解消できるのかという疑問が湧き、下流からの工事について職員と十分な協議を行いました。柴崎排水区も含め、後田樋管に天王台の雨水を持っていくという考えのもと、国交省や県等に2年をかけて前市長の考え方も含めて謝り行脚を続け、ようやく市と一緒に事業をしていきたいと思いますという形になりました。現在、後田樋管の工事と堤防の強化を含めて、工事を進めています。堤防工事につきましては、水位が低い冬場しか工事が出来ませんので、今年の秋から冬に最後の工事をする予定です。この工事完了後、泉や栄、柴崎とご指摘があったことから、常磐線を抜けて6号線まで下から引き上げる工事を予定しているとの事です。私としては、少子高齢化が進む我孫子市では、福祉も大事ですがインフラ整備をしなければ、街のつくりはできません。人間の体でいえば、水害対策等インフラ整備が下半身で上半身が福祉であると考えています。インフラ整備をしつつ、高齢化となっている福祉の充実を行っていきます。工事が進むにつれ、少しずつありますが効果があらわれており、2年前の81ミリのゲリラ豪雨に対して、床上浸水は18件に減りました。もう少しのところまでできておりますが、水害対策の工事はそう簡単に終わるものではないことをご理解いただき、水害のない街を作ってまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

市 民：一部管内貯留を泉でしていただきましたが、これは水害対策ではなく、起こった水害の被害を減らすためのものであります。お願いしてやってもらったものですので、水害をなくすほうは、手付かずのままであるということをご認識していただきたいと思えます。本来は、この排水路は常磐線を横断して径が倍になる計画で作られているものなので、これさえ出来れば、あつと言う間に水害はなくなると思えます。柴崎に依存することはない。上流調整池の効果は実は並木にできるのであって、泉の対策は常磐線を横断する管の径が倍になることとあります。順番はわかりますが、J Rとの協議は先に進めていくことが良いと思えますので、市長さんには指揮をとってもらい、進めていってほしいと思えます。

市 長：応急工事と本格工事は違います。泉の管内工事は本格工事ではないと認識しています。これが本格工事に繋がればという事を前提にお話をしています。また、市では上流調整池という考えはありませんので、下流から順次上げていくということで、工事は長期になりますので、水害の際の応急処置をしながら並行して本格工事も進めていくことをご理解ください。

市 民：関連ですが、天王台5丁目の水路で大雨が降るとすぐに溢れてしまい、私の家の車庫に水が溜まってしまいます。10年以上前からそのような状態で困っております。その水路は、途中で曲がっている箇所があり、狭くなっているのを広げてもらいたいと言ったのですが、それは出来ないと言われました。職員の対応も悪かったので、お話させていただきました。とにかく、道路の高さを上げるとか出来ないでしょうか。また、水が溢れ出ないように、水路用地の周りの草刈りも含めて、適正管理をお願いしたいので、よろしくお願いたします。

治水課主幹：場所はおそらく、天王台上流調整池の予定地あたりの水路だと思えます。一部水路が狭くなっている場所のところは、一部修繕いたしまして、矢板を変えて、それ以上狭くならないようにしております。その水路は、調整池がなかなか出来ないという点では、宙ぶらりんの状態であることは、認識しております。

今後、接続して切り替えるまでの間の方針は、緊急工事費の活用も含めて、協

議していく考えでおります。職員の対応につきましては、しっかりと指導してまいります。

市長：職員の対応につきましては、私からもお詫びいたします。市では、水害が起きた場合の応急処置として、緊急対策費を毎年、2,000万円計上しております。それ以外の本格的な工事費は、もっと大きな金額ですので、国や県と協議して補助金等を含めて一つずつ予算を計上しております。

道路を上げる事につきましては、周辺の方と協議し、状況を確認して行う事が必要であり、道路を上げたことによって、家から車が出れなくなるとか、排水管や水道管等もございいますので、その周辺以外にも影響がでてきますので、基本的に上げることは出来ません。水路工事につきましては、調査と計画と綿密な協議を行い、これからどのように対応していくか、緊急工事費の活用も含めて検討してまいります。後ほど、職員に詳しい場所等をおしえてください。よろしくお願いいたします。

市民：我孫子市におかれましては、天王台6丁目の浸水対策事業と、昨年説明会をしていただき、感謝いたします。6丁目は、すり鉢状の地形であり9年前の平成20年の8月には20件程の浸水被害が出ました。これにより、平成23年度から平成32年度までの対策事業が開始されました。総事業費は約6.5億円と言われております。天王台南公園浸水施設築造工事は平成29年4月に完了しました。

平成30年1月から4月にかけて行われます、浸水対策事業に伴う地下埋蔵施設の移設とか調査、支障施設の撤去等を含め、雨水管幹線工事を進めていただき、径の長さ1.6mという工事の説明を受けております。例年どおり、工事の実施の時期にあわせまして、説明会を開催していただきたいと思っております。この工事が終わりますと80cmの浸水が43cmに減ると試算されております。安全、安心な暮らしが出来るよう、要望いたします。もう1点ですが、東高野山区域では、下水道対策が遅れておりますので、国道356号線沿いの我孫子中学校から中央郵便局までの間に下水道管が配置されておられません。住民の環境を守る

ためにも、設置を切に願います。よろしく願いいたします。なお、公共下水道設置区域でありながら、設置手続きをされていない方について、市の方での設置促進への対策などがありましたら、お聞かせください。

建設部長：私の方からは、下水道関係につきまして、お答えいたします。下水道管への設置手続きにつきましては、要望が出てきた中で、市民の皆様にご不公平にならないよう、個別にお願いをして廻るしかないと思います。

市長：ふれあい懇談会で、どこの地区でも出る要望は、道路、下水道、街路灯、街路樹などです。それぞれの地域で、それぞれの課題があることは承知しております。どこからやっていくのか順番を決めることは、私としてもつらい所です。それと、このような事業での国や県の補助金が年々減ってきておりますので、市の持ち出しが増えてきて、どの事業から行うのか担当課間での協議も大変な状況です。湖北地区のように10年も前から下水道工事をまっている地区もありますので、それぞれの地区の状況も考え、順番を決めていきたいと考えております。

そのような中で、今年は皆様から頂いている市税を民生費、いわゆる社会保障費が上まわりました。インフラ整備はその市税以外で対応していかなければならなくなっております。要望されて設置したけれども接続してもらえないのでは、市としても困る部分もあります。356号線沿いということですので、管轄の県の事務所と協議を進めてまいります。全体的にこのような問題等で遅れてくる場所もあると思いますが、地域の方との協議を進めながら、ニーズの高いものから順位を決めて、少しずつとなりますが進めてまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

市民：関連として、下水道の接道に関しては、公共下水道設置地域の方は接道が義務付けられているとありますが、本管が出来る前に家屋が設置されている場所については、接道を拒む問題が多々起きているようです。本管が出来る前にまず接道の推奨をお願いするような活動を市役所としてもとっていただきたい。特に古いアパートに関しましては、側溝にそのまま流してしまい、悪臭がする場合がございます。

あります。水質汚濁をなくすためにも、推奨活動をお願いいたします。

建設部長：昔は単独浄化槽が多かったのですが、今は合併浄化槽多くなり、生活排水も含め全て処理されてからU字溝に流れるようになっていきます。おそらく、水道管に接続されていない方は、まだ浄化槽が使えるからという事で接続しないのではないかと思います。しかし、周りの環境への影響も考えていただき、接続していただけるよう、説得していくしかないと思います。本管工事が始まる前につきましても、接続のお願いを行ってまいります。

市 民：我孫子駅の6号線側のロータリーに車で迎えに行った際に、バスの運転手に怒られましたと友人から聞きました。迎えの車が止められるようなスペースとかはないのでしょうか。どのように対応したら良いのでしょうか。天王台の南側に対してもタクシーの場所が広くて、一般車の場所が狭いようです。タクシーがない場合には利用できるのか、何か良い方法はないのでしょうか。

また、郵便局の本局前の信号ですが、駅から356号線に向かう際に時間差があるので、流れを良くするためにも時間差をなくし、一気に356号線の信号まで行けるようにしてほしい。

建設部長：駅前のロータリーでは、待機する場所は限られておりますので、行政としては、はっきりと言い切れませんが、バスが来たら退いていただくというような、対応をされた方が良いと思います。

市 民：公共のバスではなく、会社や学校のバス等の運転手に怒られたとのことですが。

市 長：基本的に我孫子市内の駅前のロータリーで送迎車用のスペースは設けておりません。邪魔にならないよう、タクシーやバスの停留所を避けてお待ちいただくしかないと思います。ご指摘にあったように天王台駅南北のタクシー待機場所については、広いので止めたくなるのはわかりませんが、タクシー会社等と協議を

して造られた場所ですので、直ぐにとめて良いというものではありません。また、それを許可すると駅前を無料で止められると勘違いする人も出てきます。

我孫子駅につきましては、公共のバス以外の会社や学校のバスの運転手が態度が悪いという声も耳に入ったことがありましたので、もし、そのような運転手にあった場合、匿名でも構いませんので、秘書広報課に市政への手紙やメールでお知らせください。市の方で指導いたします。信号につきましては、市が設置するわけではありません。警察です。時間差につきましては、車のスピードが上がらないよう、わざと差をつけている場所も市内にはあると聞いておりますが、一応、警察には聞いてみます。ただ、子どもたちの安全の為という事であれば、市としても、従うしかないと思いますし、保育園、幼稚園、学校の近くの信号は、そのような事だと思っていただければと思います。他には、高齢者の方が交差点を渡りきる前に信号が赤に変わるようなので、長くできないかという質問が他の地区のふれあい懇談会でもありました。その際、そこが渋滞となり、他の道路にも波及するかもしれないとお伝えしたところ、ちょっと考えさせてくれという事もありました。その場所にあった部分を考えながら、警察とも協議をしていきたいと考えております。ご理解くださいますよう、よろしく願いいたします。

市 民：若松長寿会の会長をしております。毎月の例会といたしまして、つつじ荘にて、月に1度、会を催しているのですが、参加者には高齢者が多いので、2階の利用している和室へのエレベーターを設置してほしいのですが。

市 長：つつじ荘は古い建物です。後付けでエレベーターを設置する際、構造上問題がないか調査しなければなりません。確認はいたします。私は、耐震補強工事をしなければならない施設かと思いましたが、それは大丈夫でした。施設については、耐震工事を行うか、建て直すかの選択があり、建て直しの施設もありましたが、現在全ての施設の工事は終わりました。エレベーターについては、後付けが可能なのか、また、施設自体建て直しになるのかという事にもなりますので、建物の老朽化部分も含めまして、協議が必要です。お時間をいただきたいと思えます。

市 民：今直ぐに行っていただきたい事ではないのですが、手賀沼公園に我孫子にある乗馬クラブから馬をお借りして、将来的には乗馬が出来るように出来ませんか。人も多く来るようになるのではないかと思います。

市 長：実際に手賀沼公園で障害を持った子供たちを中心にした動物達とふれあうイベントがあり、乗馬体験を行った事もあります。一般の方が来た場合、動物が怖いという方もいらっしゃるというような状態の中で、手賀沼公園以外になると思いますが、子どもたちが動物とふれあうような場所を造る計画をしていると相談しに来ている方もいらっしゃいます。月に1回か2回ぐらい動物体験が出来れば、子どもたちから高齢者まで、世代を超えた交流が出来るようになるのではないかと考えております。お話のイメージは良い感じでしたので、一般の方も参加出来るようなお話もしていきたいと考えております。